

スーパーマーケット景気動向調査

2017年1月調査結果（12月実績）
（2017年1月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

1月調査（12月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断、見通し判断ともに小幅ながら3ヵ月連続で改善

12月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.5の47.7、見通し判断も前月から+0.7の44.3となり、共に小幅ながら3ヵ月連続の改善となった。

経営動向調査では、売上高DIが-4.0、収益DIは-4.0と共にマイナスとなった。大雪などの影響もあり来客数DIが-10.2（前月比-4.9）と大きく下落したことが影響している。高騰している生鮮品仕入原価は12.7と引き続き高水準を維持しており、客単価DIには大きな変化は見られなかった。

カテゴリー動向調査は、引き続き相場の高騰により青果DIが24.1と高水準を維持しているものの、他のDIは総じて伸び悩みをみせている。特に不漁による品不足や相場高が続く水産DIは-16.0まで低下している。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、小幅ながら多くのDIが前月に引き続きわずかに改善をみせ、3ヵ月連続の改善となった。一連の改善により、すべての移動平均線がプラス方向に転換しており、2015年の秋以降続いてきた悪化傾向から反転の流れが継続していると考えられる。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

引き続き青果相場高に支えられ、来客数DIのマイナスを客単価DIのプラスでカバーする厳しい環境が続いている。しかし、経営動向調査やカテゴリー動向調査結果では好調とはいえない環境でも、景況感の改善傾向が継続している状況はこれまでと明らかに異なる状況といえる。消費環境の改善の兆しによるプラス面が相場の落ち着きによるマイナス面をカバーすることができるか動向が注目される。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：47.7 (+0.5)
前月：47.2

消費者購買意欲DI
当月：48.6 (+1.2)
前月：47.4

周辺地域 競合状況DI
当月：42.9 (+1.5)
前月：41.4

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：47.6 (+0.8)
前月：46.8

見通し判断

景気判断DI
当月：44.3 (+0.7)
前月：43.6

消費者購買意欲DI
当月：45.0 (-0.1)
前月：45.1

周辺地域 競合状況DI
当月：41.3 (+1.2)
前月：40.1

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.5 (+0.5)
前月：46.0

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：-4.0 (-4.1)
前月：0.1

客単価DI
当月：5.6 (-0.7)
前月：6.3

来客数DI
当月：-10.2 (-4.9)
前月：-5.3

収益DI
当月：-4.0 (+1.0)
前月：-5.0

販売価格DI
当月：4.1 (-3.4)
前月：7.5

生鮮品仕入原価DI
当月：12.7 (-3.8)
前月：16.5

食品仕入原価DI
当月：1.3 (-3.0)
前月：4.3

カテゴリー動向

青果DI
当月：24.1 (-3.1)
前月：27.2

水産DI
当月：-16.0 (-2.7)
前月：-13.3

畜産DI
当月：-3.1 (+1.4)
前月：-4.5

惣菜DI
当月：2.9 (-4.3)
前月：7.2

日配DI
当月：0.4 (+1.0)
前月：-0.6

一般食品DI
当月：-9.2 (-1.3)
前月：-7.9

非食品DI
当月：-12.4 (-2.7)
前月：-9.7

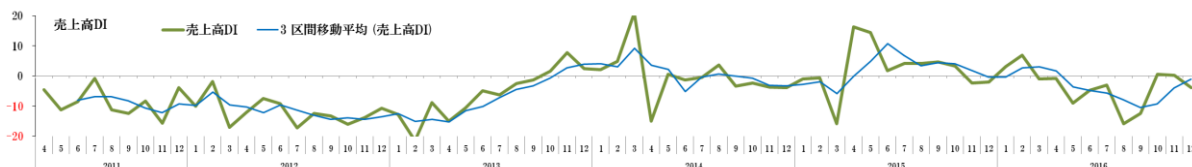
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

1月調査（12月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

2ヵ月連続でプラス圏を維持したが、当月は下落

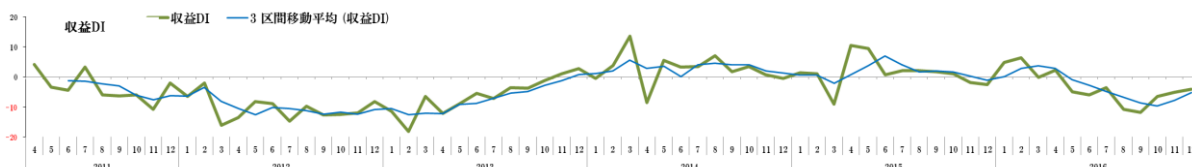
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	5.4	27.7	30.7	33.2	3.0	0.1
売上高（当月）	6.6	30.6	35.5	26.8	0.5	-4.0



2. 収益DI

10月以降改善傾向が続くも、引き続きマイナス圏での推移

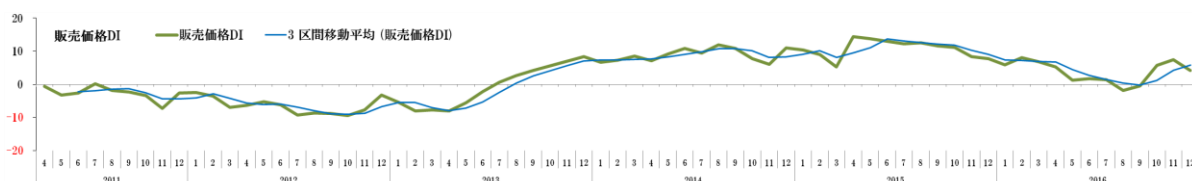
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	8.5	33.2	31.2	24.1	3.0	-5.0
収益（当月）	5.0	31.5	40.3	21.0	2.2	-4.0



3. 販売価格DI

直近は下降傾向からやや反発も、当月は下落

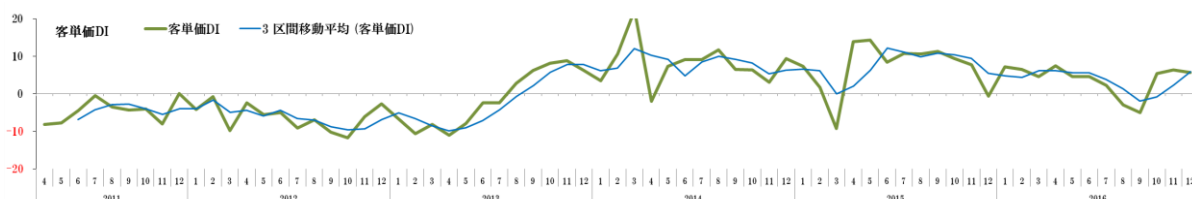
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.5	6.0	58.2	33.8	1.5	7.5
販売価格（当月）	0.0	11.0	62.1	26.4	0.5	4.1



4. 客単価DI

直近は下降傾向からやや反発も、当月は小幅に下落

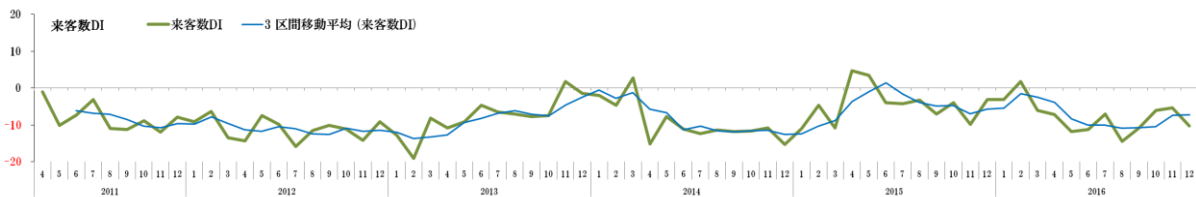
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	15.9	42.8	41.3	0.0	6.3
客単価（当月）	0.0	18.6	41.0	39.9	0.5	5.6



5. 来客数 DI

当月下落し、マイナス圏での低迷が続く

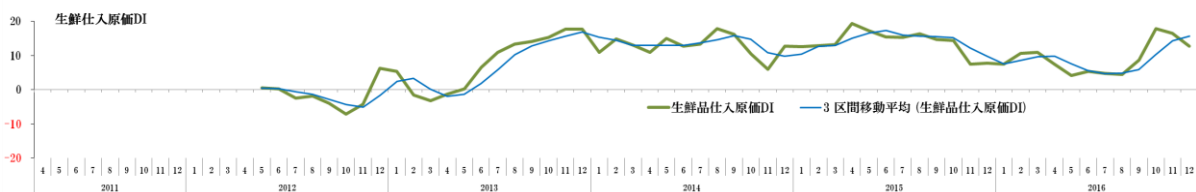
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.5	38.3	32.8	22.9	1.5	-5.3
来客数 (当月)	5.5	45.4	33.9	15.3	0.0	-10.2



6. 生鮮仕入原価 DI

二桁プラス水準を維持

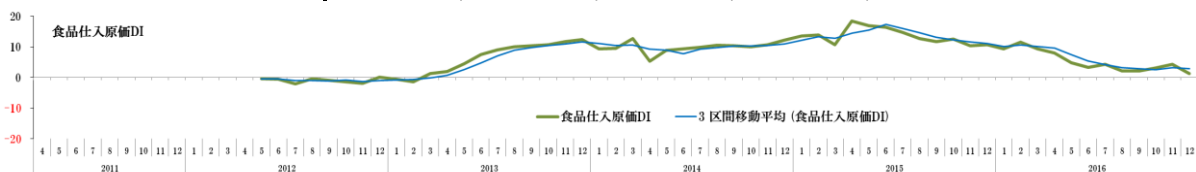
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	4.6	33.0	52.3	9.6	16.5
生鮮仕入原価 (当月)	1.1	5.6	40.1	47.5	5.6	12.7



7. 食品仕入原価 DI

2015年4月をピークとした下降傾向続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	7.1	68.7	22.2	1.5	4.3
食品仕入原価 (当月)	2.2	6.1	76.0	15.6	0.0	1.3

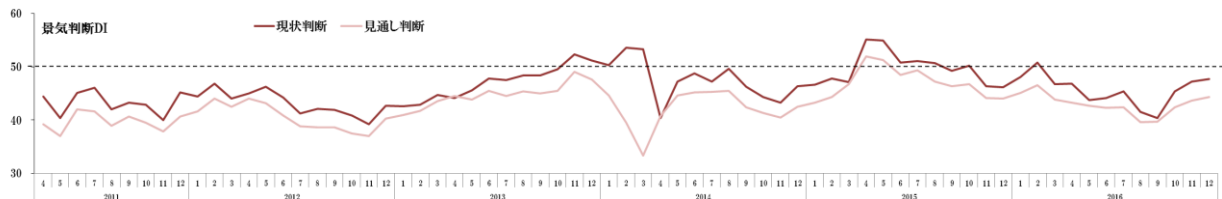


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に3ヵ月連続で小幅に改善をみせる

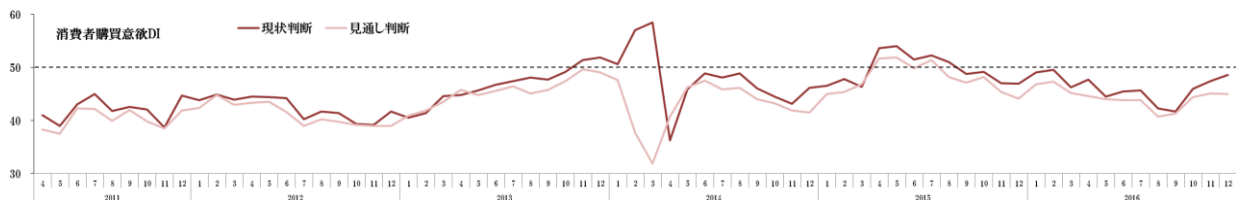
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.0	22.1	64.2	12.7	0.0	47.2
【現状】景気判断 (当月)	0.5	18.0	71.6	9.8	0.0	47.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.9	25.5	65.7	5.9	0.0	43.6
【見通し】景気判断 (当月)	1.1	27.2	65.2	6.5	0.0	44.3



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は3ヵ月連続で小幅に改善をみせる

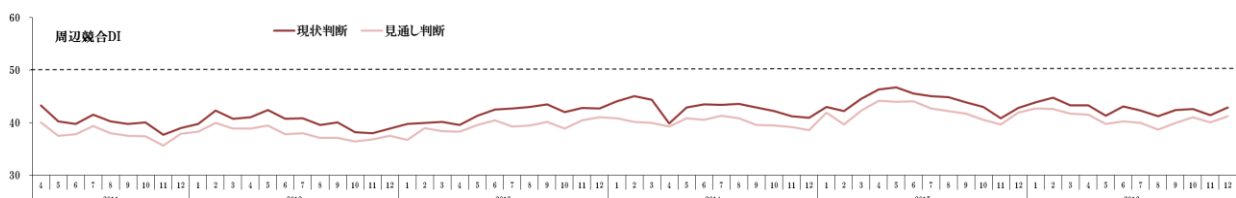
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	20.1	70.1	9.8	0.0	47.4
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	17.9	69.6	12.5	0.0	48.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	24.5	70.6	4.9	0.0	45.1
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	24.5	69.6	5.4	0.0	45.0



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に改善も、低位横ばい傾向続く

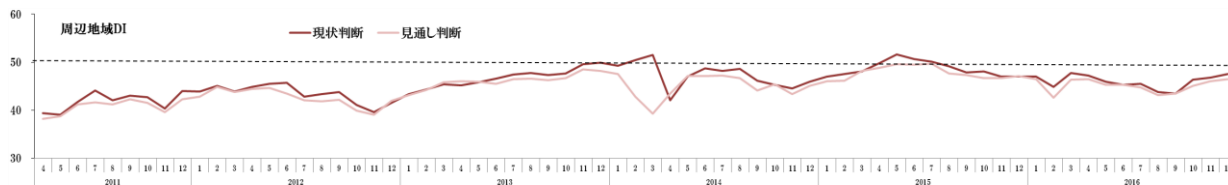
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.4	27.5	66.7	1.0	0.5	41.4
【現状】競合状況 (当月)	2.7	26.2	68.3	2.2	0.5	42.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.9	31.4	62.3	1.5	0.0	40.1
【見通し】競合状況 (当月)	2.7	31.7	63.4	2.2	0.0	41.3



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に3ヵ月連続で小幅に改善をみせる

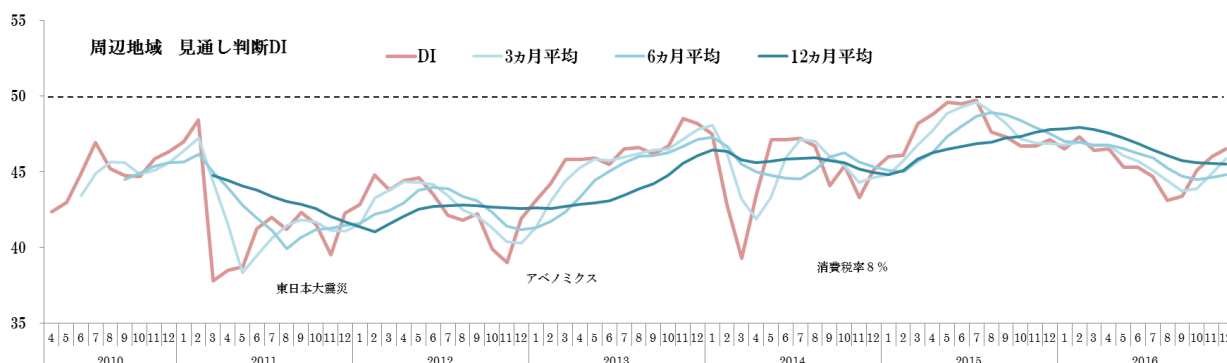
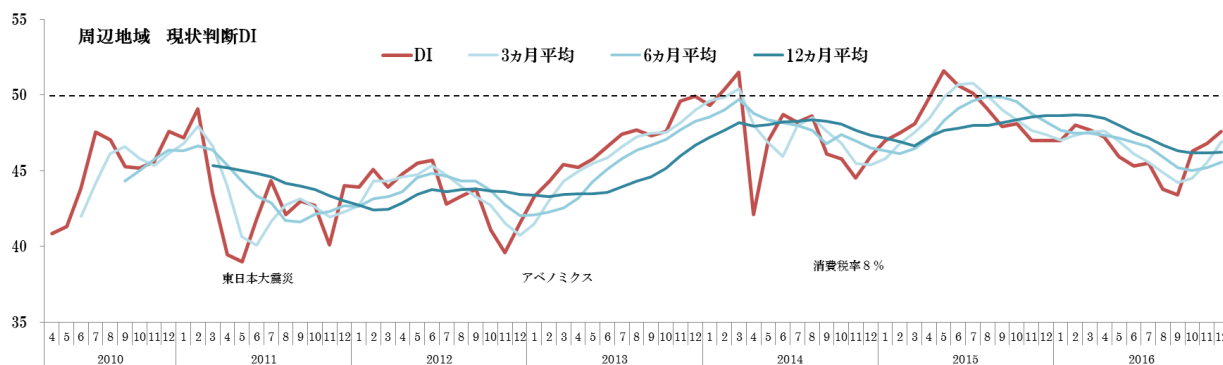
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.5	14.3	82.8	2.5	0.0	46.8
【現状】地域景気(当月)	0.0	12.5	84.8	2.7	0.0	47.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	1.0	16.3	80.2	2.5	0.0	46.0
【見通し】地域景気(当月)	0.5	16.3	79.9	3.3	0.0	46.5



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、11月、12月も小幅に改善した。

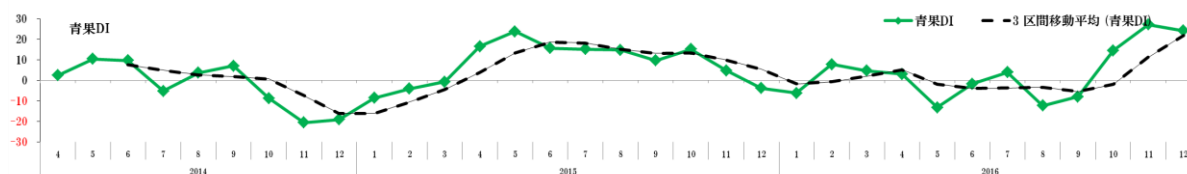
2016年4月に13ヵ月ぶり「12ヵ月移動平均」がマイナスを記録したが、直近の3ヶ月連続の改善による移動平均はすべてプラスに転換をみせている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：24.1（かなり好調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	2.1	5.6	11.8	42.6	37.9	27.2
青果（当月）	0.0	8.0	13.7	52.0	26.3	24.1



野菜相場は引き続き高値で推移しており一品単価増につながっていることや、月の後半から価格にやや落ち着きもみられ、買い上げ点数に改善がみられたことで好調となった。野菜は全般的に好調となっており、葉物類、根菜類、菌茸類が好調となった。鍋商材は高い気温の影響を受けた店舗もみられたが比較的好調となった。高値が続く果物ではみかんは好調、いちごは好不調がわかれ、単価が下落したバナナ、リンゴは不調とする店舗が多かった。

2. 水産DI：-16.0（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	12.8	41.3	32.7	12.8	0.5	-13.3
水産（当月）	12.8	49.4	27.3	9.9	0.6	-16.0



主力品や年末需要品の多くが不漁による高値で推移した。クリスマス前までは不振であったが、年末商戦では比較的好調となっており、刺身類や数の子は好調とする店舗が多かった。ノロウイルスの流行により貝類（特にカキ）は大きく落ち込みをみせた。入荷不足により品揃えに苦労した店舗も多かった。

3. 畜産DI：-3.1（やや不調）

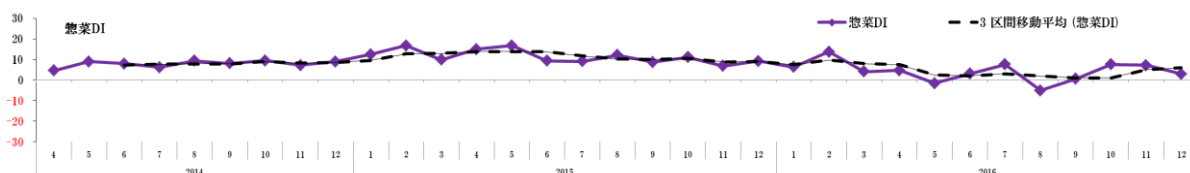
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	4.6	30.9	43.3	20.1	1.0	-4.5
畜産（当月）	2.3	34.9	37.7	23.4	1.7	-3.1



牛肉は和牛を中心に相場高が続いており、国産牛や輸入牛、相場が安定してきた豚肉や鶏肉の売り込みを強化している店舗が多くみられ、単価の伸び悩みが続いている。一方で、年末商戦ではすきやき・しゃぶしゃぶ用牛肉など和牛や銘柄牛を含め好調となった。加工品についてはわずかに回復傾向もみられるようになっている。一部では鳥インフルエンザの影響もみられた。

4. 惣菜DI：2.9（やや好調）

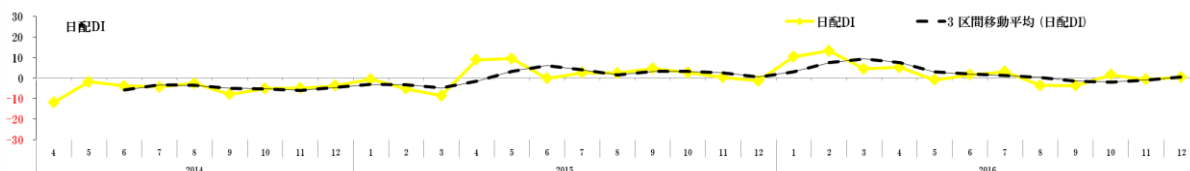
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.1	15.5	38.7	35.1	7.7	7.2
惣菜（当月）	2.3	20.8	44.5	27.7	4.6	2.9



クリスマス用のチキンやから揚げ、年末商戦は寿司盛り合わせなどが比較的好調に推移した。サラダ関連も引き続き好調となっている。それ以外では、ほぼ前年並みの傾向となった。人手不足により売場対応に苦慮している店舗もみられた。

5. 日配DI：0.4

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	2.6	27.7	42.1	25.1	2.6	-0.6
日配（当月）	2.9	21.7	48.0	25.7	1.7	0.4



インフルエンザ対策で機能性乳酸菌飲料が好調となったが、高い気温の影響でパン類は不調となった。クリスマス商戦ではデザートを中心に洋日配が比較的好調となった。おせち商材は前年並みからやや不振。テレビで取り上げられた甘酒は好調。昨年好調であった納豆が反動減となっている。

6. 一般食品：-9.2（やや不調）

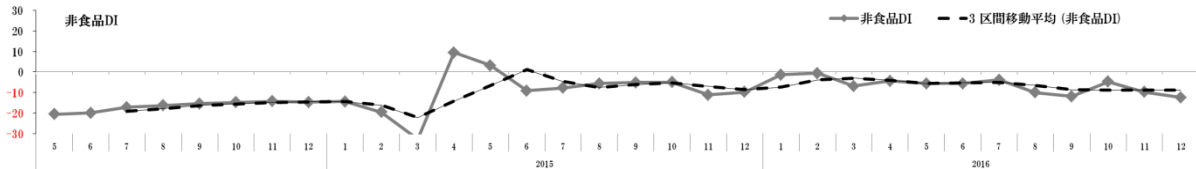
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.1	40.0	40.5	14.4	1.0	-7.9
一般食品（当月）	5.2	40.8	40.2	13.2	0.6	-9.2

単価上昇を追い風に米類や、餅関連はやや好調となった。気温が高めに推移したこともあり、冬物商材の動きは低調となった。年末商戦はほぼ前年並みとなったが、ギフト関連は不調となった。酒や調味料は好不調がわかれている。他業態と競争が厳しい状況にあるという指摘が多くなっている。



7. 非食品 DI：-12.4（不調）

回答構成比（%）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.6	39.2	37.1	12.4	2.7	-9.7
非食品（当月）	7.6	45.9	36.5	8.2	1.8	-12.4



気温が高いことで全般的に冬物商材の動きが悪かった。大掃除関連用品は好不調にわかれている。インフルエンザ関連は好調となった店舗が多い。特にこのカテゴリーでは他業態との競合で引き続き厳しい状況にある。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2017年1月調査（12月実績）キーワード TOP3

1. 青果相場高騰
2. 水産カテゴリーの不振
3. 競合の影響（価格競争）

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

12月実績速報版 204社
 11月実績確報版 184社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp